BASF
We create chemistry

新規殺虫剤

エフィコン® SL

Powered by Axalion® Active

落ちる害虫、
活きる益虫。



適用拡大しました!

詳細は裏面を参照ください。

新規IRACグループ36に分類!

- 特長1 既存殺虫剤とは異なる部位に作用するため、抵抗性害虫にも効果を発揮!
- 特長2 速やかに害虫の異常行動を誘発することで吸汁を阻害し、ウイルス媒介を抑制!
- 特長3 優れた浸達性と移行性で安定した効果!さらに、露地条件において約3週間の残効性!
- 特長4 カブリダニ等の天敵生物や、有用昆虫への高い安全性でIPM(総合防除)に最適!

®=BASF社の登録商標

■適用病害虫名と使用方法

（色文字が2026年9・11月適用拡大部分）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジンプロピリダズを含む農薬の総使用回数
りんご	アブラムシ類	1000～4000倍	200～700ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
なし	カイガラムシ類	1000倍					
もも	アブラムシ類	1000～2000倍					
	カイガラムシ類	1000倍					
おうとう	オウトウショウジョウバエ			収穫前日まで			
ぶどう	チャノキイロアザミウマ			収穫7日前まで			
キャベツ	アブラムシ類	250倍	※1	定植当日	1回	灌注	3回以内（定植時までの処理は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内）
		1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	アザミウマ類	1000倍					
	アブラムシ類	16倍	0.8～1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		32倍	1.6～3.2ℓ/10a				
はくさい	アブラムシ類	250倍	※1	定植当日	1回	灌注	3回以内（定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内）
		1000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
ブロッコリー		250倍	※1	定植当日	1回	灌注	
		1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	アザミウマ類	1000倍					
レタス類	アブラムシ類	250倍	※1	定植3日前～定植当日	1回	灌注	
		1000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	3回以内（定植時までの処理は1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内）
	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類 トマトサビダニ	1000倍					
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	
	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	1000倍					
ピーマン	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	
	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類	1000倍					
いちご	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	
	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	アザミウマ類 コナジラミ類	1000倍					
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	3回以内（定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内）
	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類 アザミウマ類	1000倍					
すいか メロン	アブラムシ類 コナジラミ類	500倍	50mℓ/株	定植当日	1回	育苗ポット灌注	
	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
	コナジラミ類	1000倍					
てんさい	アブラムシ類	100倍	※2	定植当日	1回	灌注	
		2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
ばれいしょ		100倍	20ℓ/10a	植付時	1回	植溝内土壌散布	3回以内（植付時の植溝内土壌散布は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内）
		2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
		32倍	0.8～1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		64倍	1.6～3.2ℓ/10a				
だいず		2000～4000倍	100～300ℓ/10a			散布	2回以内
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ チャトゲコナジラミ	500～1000倍	200～400ℓ/10a	摘採14日前まで			

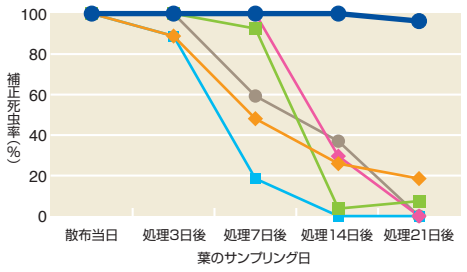
※1：セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ　※2：ペーパーポット1冊当り1ℓ（3ℓ/㎡）

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジンプロピリダズを含む農薬の総使用回数	被害防止方法（使用者）
トマト ミニトマト	温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 トマトサビダニ	40倍	10ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	常温煙霧	3回以内（定植時までの処理は1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内）	
なす		アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類							
ピーマン		アブラムシ類 コナジラミ類							
いちご		アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	50倍	9ℓ/10a					

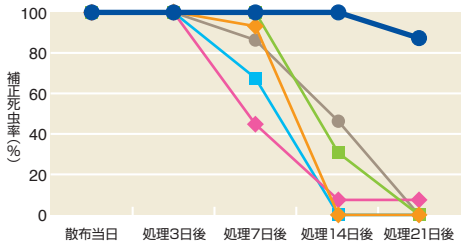
農薬使用者への被害防止方法 防護装備：該当なし。 その他：夕刻から常温煙霧し、常温煙霧中はハウスへ入らないでください。また、翌朝の常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気をした後に入室してください。

■残効性

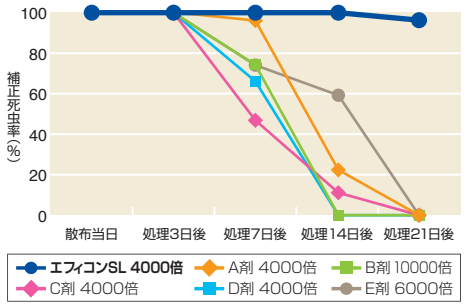
■ジャガイモヒゲナガアブラムシに対する防除効果



■モモアカアブラムシに対する防除効果



■ワタアブラムシに対する防除効果



●試験機関：BASFジャパン(株)アグソリューションファーム成東（2026年 社内試験）●作物(品種)：ばれいしょ(男爵) ●区制：1区20株、3反復 ●処理方法：茎葉散布 ●試験条件：薬剤処理後経時的に葉をサンプリングし、各アブラムシ幼虫を1葉当たり10頭接種し、3日後、7日後、14日後、21日後の死虫率を求めた。

エフィコン®SLの4000倍は散布後約3週間まで高い死虫率で推移し、対照剤に比べ優れた残効性を示した。

⚠効果・薬害等の注意事項（抜粋）

●軟弱な苗、または高温条件下で灌注すると薬害を生じるおそれがあるので注意してください。●野菜類への灌注処理後、ポット又はトレイのまま放置すると、葉縁部の壊死やそれに伴う葉の変形を生じるおそれがあるため、灌注処理後はできるだけ速やかに定植してください。●ぶどうの幼果期から果粒肥大期の散布は果粉の溶脱のおそれがあるので使用をさけてください。●茎葉散布は、害虫の発生初期に行い、とくに発生が多くなってからのアザミウマ類、カイガラムシ類への散布は効果が劣るので、発生状況をよく確認の上、使用してください。●りんごの品種「秋映」では、花弁や葉に薬害（褐変）が生じるので使用しないでください。また、飛散（ドリフト）等により散布液がかからないように十分注意してください。●キャベツの育苗期に灌注する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。特に、品種「初秋」に使用すると、葉の奇形や生育遅延を生じる場合があるので注意してください。●ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意事項を守ってください。①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。②作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください。●本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。①散布機種の散布基準に従って実施してください。②散布機種に適合した散布装置を使用してください。③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。⑤散布終了後は以下の注意事項を守ってください。•使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。•使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。 •散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。●過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせて使用してください（抵抗性発達回避）。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

このチラシの記載内容は2026年11月現在のものです。

BASFジャパン株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL日本橋ビル3階 ☎0120-014-660
https://crop-protection.basf.co.jp/

詳細やSDSはWEBでご覧いただけます。

BASF-0878
202611